



シーズ名

植物の生物多様性の解明とその応用

氏名・所属・役職

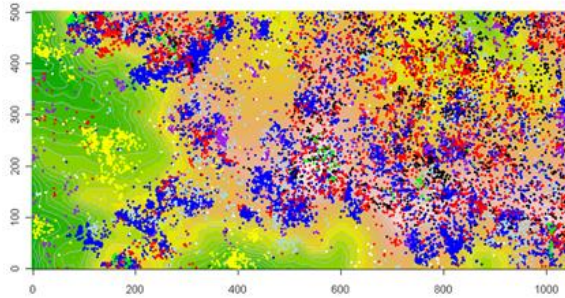
伊東明・理学研究科生物地球系専攻・教授

●ボルネオ熱帯雨林の長期森林動態

世界一多様性の高い熱帯雨林(マレーシア・サラワク州)に大面積調査区をつくって、森林の動態を継続的に調べています。

●多様性はどう生まれ・維持されているのか

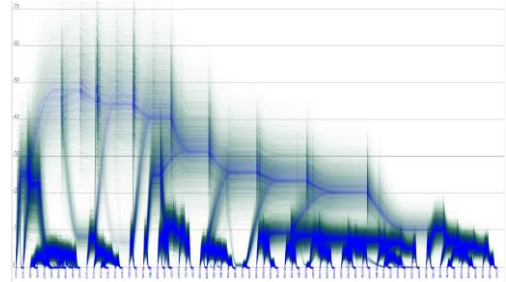
熱帯樹木の遺伝子を調べることで、進化の過程で熱帯雨林の多様性がどう生まれ、維持されてきたのか調べています。



すみわけによって共存しているフタバガキ科樹木.



熱帯雨林の巨木調査.



遺伝子解析で推定したフタバガキ科の系統樹.

●熱帯林の劣化評価と修復技術の開発

伐採や焼畑による熱帯林の遺伝的、生態的劣化の評価方法とその修復技術の開発をしています。

●雑種タンポポの形成・拡大過程

市民団体と協力して、西日本の雑種タンポポの拡大過程を遺伝子解析で調べています。



伐採による熱帯林の劣化



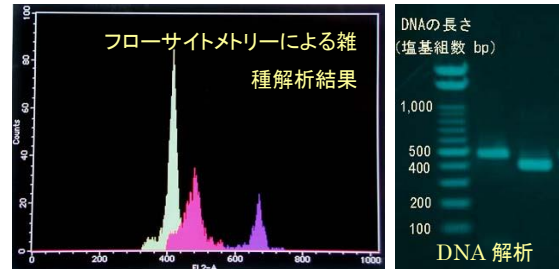
様々な形態のタンポポの花



密閉法による挿し木生



ミストハウスによる山引き苗生産



フローサイトメリーによる雑種解析結果

DNAの長さ (塩基組数 bp)

DNA 解析

<アピールポイント>

植物を対象に、多様性がどう進化し、維持されているのかを解明することを目指した生態学的な研究を行っています。こうした基礎的な研究で得られた成果を環境修復に役立てたり、市民にわかりやすく伝えることで生物多様性の理解の普及に貢献したりすることができます。

<利用・用途・応用分野>

環境科学、生態系修復、環境教育、生物多様性保全、熱帯林

<関連する知的財産権>

なし

<関連するURL>

研究室 HP <http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/pecol/pecol.html>

タンポポ調査・西日本 <http://gonhana.sakura.ne.jp/tanpopo2020/index.php>

<他分野に求めるニーズ>

野外調査の自動化。

キーワード

生態学、熱帯林、生物多様性、外来植物、環境修復